UNITE FOR GOOD

WEEKLY
鹿児島中央ロータリークラブ

週報 No. 2161

KAGOSHIMA CHUO JAPAN

令和７年９月８日　第2188回例会

1977年1月10日創立

2025～2026年度　国際ロータリー会長　フランチェスコ・アレッツォ

●会　長　宮脇　謙舟　●副会長　吉田　健朗　●幹　事　林　幸一郎　●編　集　広報・雑誌・IT委員会（公共イメージ）

四つのテスト　言行はこれに照らしてから　❶ 真実かどうか　❷ みんなに公平か　❸ 好意と友情を深めるか　❹ みんなのためになるかどうか

本日のプログラム　会員卓話「新入会員自己紹介」　9月　基本的教育と識字率向上月間／Rの友月間　前回例会出席率 85.10%

会長の時間

会長　宮脇　謙舟

みなさま、こんにちは。

ご存じの方も多いと思いますが、私は玉龍高校の卒業生です。先週末３０日に開催された全体の同窓会では、私たちの学年が幹事を担当し、私が実行委員長を務めました。

幹事になって初めて分かったのですが、準備の全てを自分たちで行う必要があり、驚きました。今年初めに前年の幹事から資料を引き継ぎ、封筒の準備から印刷、名簿作成、広告依頼、ホテルとの打ち合わせまで、すべてゼロからスタートする形でしたので、大変な作業でした。

同窓会では 10 学年下がサブ幹事を務めます。私たちがサブだった際は、準備もかなり手伝い、当日も 85 人が参加しました。しかし、今回のサブ幹事は準備は全くでてこず、当日の出席者も１人のみでした。こうした伝統が、若い世代にはなかなか受け入れられなくなっていること、また、運営の在り方そのものが時代とともに変化してきていることを実感しました。

全体の出席者数も、コロナ禍以降は以前の半数ほどに留まっており、厳しい状況です。会費も、コロナ前は 6,000 円でしたが、今回は 9,000 円と 1.5 倍に上がったことも影響しているかもしれません。

鹿児島の高校文化について少しお話ししたいと思います。鹿児島県外の方には驚かれるのですが、鹿児島では「高校」が非常に重視される文化があります。これは同じく地方の宮崎や佐賀の方々にも珍しがられるため、鹿児島独自のものだと思われます。

このクラブの中でも、鹿児島市出身であれば、誰がどの高校出身か皆さんご存じかと思います。なぜ鹿児島ではここまで高校が重視されるのか、調べてみました。

主な特徴としては、まず「高校名がアイデンティティになる」ことが挙げられます。高校名がその人の評価や交友関係に影響を与える、また、「大学進学よりもまずどの高校に入るか」が重視される傾向がある、とありました。

背景としましては、明治維新で活躍した多くの人材を輩出した歴史があり、旧制中学に由来する学歴重視の意識が強く根付いていることがあるようです。さらに、鹿児島は県外への進学率が高いため、「まず良い高校に入ることが重要」という考えがあります。また、地域のコミュニティにおいても「〇〇高校出身」という肩書きが重視される為、とありました。

この文化の良い点としては、学力向上への意識が高く、教育熱心であることが挙げられています。また､悪い面としては､過度な受験ストレスや、高校名で人を判断する風潮、高校進学がゴールになってしまいがちな点が指摘されています。

また、この文化の大きな理由としてあげられていたのが、鹿児島では私立の中高一貫校が少なく、公立高校中心の社会であるため、学力による序列が明確になりやすい傾向があるため、「どこの高校に行ったか」が、その人の能力のように見なされがちだとありました。

ただし、ここ数年で状況も変わりつつあります。高校無償化の影響や、私立校の取り組みの成果もあり、最近では鹿児島高校や樟南、実業、志学館といった私立高校が、公立高校以上に人気を集めています。今後は、鹿児島の高校文化も変わっていくのかもしれません。

本日の会長の時間は以上です。

最後までお聞きいただき、ありがとうございました。

ゲスト卓話

火山災害の特徴と桜島の火山活動

京都大学火山防災研究センター長
中道　治久

火山災害は、他の自然災害と異なり、事象発生前の警戒期間が数週間から数カ月に及ぶだけでなく、噴火事象が発生してからも、噴火が数カ月から数年にわたって継続することがあります。風水害、地震、津波では、事象が起こらなくなれば、すぐにでも復旧復興に進めるのに対して、火山災害は長期にわたるため、復旧復興が遅々として進みません（例えば、口永良部島の噴火）。また、火山災害は他の自然災害に比べて極めて低頻度ではありますが、東北地方太平洋沖地震による災害を大きく超える世界規模の災害になりえます。また、火山災害の要因は多岐に渡り、火山灰、火山レキ、火山岩塊、火砕流、溶岩流、火山ガスなど噴火によって直接的な被害を及ぼすものと、土石流や泥流や地震など噴火からの二次的な要因として被害を及ぼすものがあります。

桜島は歴史時代に３回の大規模噴火をしており、山頂を対称に山腹の２箇所から噴煙を高く上げる噴火とそれに続く溶岩流が起こりました。そして、火口の場所がその都度異な

るのが特徴です。最も新しい大規模噴火である大正噴火から111年経過し、地下にマグマが着実に蓄積していることから、大規模噴火の発生の可能性は年々増加しています。

最近の桜島の顕著な事例として、2015年8月15日の有感の群発地震と、2020年6月の火山岩塊の集落への飛散について紹介します。このように、桜島で日々発生する噴火に市民や住民は慣れていますが、突然の発生である顕著な現象と、大規模噴火については非日常であるため、備えは欠かせません。

誕生日お祝い

奨学金支給

9月定例理事会 議事録

会議名 場　所	定例理事会 社交室
日　時	2025年9月1日（月） 例会後
出席者	宮脇謙舟・吉田健朗 林幸一郎・國料　忠 田中和俊・濵上友美 逆瀬川勇・橋元　隆 坂元直人・高岡和也 下　隆治・竹添　寛 下村　哲也
欠席者	

議　題

1）9・10月例会プログラム及び行事予定（添付資料）
- 9月29日
  国際奉仕フォーラムへ変更
- 10月6日
  レディースデイ例会へ変更
- 10月27日
  地区大会報告へ変更
  （友のみどころ）
- 11月17日　米山奨学生卓話へ変更

2）会計報告
①8月度試算表について（別紙明細）…… 承認
②納涼家族会収支…… 承認

3）職場訪問例会について
・11月10日（月）　島津興業（株）を予定。

4）社会奉仕活動について
昨年度：かごしま乳児院へクリスマスプレゼント贈呈
⇒昨年度と同じ。

5）クリスマス忘年家族会について
日程：2025年12月21日（日）
会場：第一候補　康正産業（ふぁみり庵 or イタリアン）、第二候補　サンロイヤルホテル
会費：会場決定後に改めて設定する。

6）その他
①次回理事会について
2025年10月6日（月）　例会終了後　於：社交室
②地区大会　宿泊費については、10,000円／泊の補助有

スマイル・ボックス

●宮脇会長・林幹事／本日のゲスト卓話は、『京都大学火山防災研究センター長　中道治久様』にお越しいただきました。桜島だけでなく新燃岳、口永良部島、諏訪之瀬島の火山活動はかなり活発な状況であり、鹿児島に住んでいる我々としては、非常に気になっております。日頃の備えについてのお話も拝聴できるとのことですので、皆様心して聞きましょう。中道さま、本日はよろしくお願い致します。

●石塚　俊雄さん／83才になります。取り立てて感慨は御座居ませんが、妻も同じ年令ですが5月生れなので4ヶ月早く姉さん女房になり、大層悔やしがりますが、私の誕生日で大分機嫌が良くなります。誕生日祝い有難うございます。

●平山　勢津子さん／大変遅れてしまい恥ずかしい限りですが宮脇さんの会長御就任おめでとうございます。林幹事とともにお2人の個性が光るすばらしい1年にして下さい。健康に留意しながら頑張って下さい。

●下村　哲也さん／連続出席表彰（3年）をいただき、ありがとうございました。会長任期を終えて脱力状態ではなりますが、今後も頑張って出席したいと思います。

●下　隆治さん／誕生日祝ありがとうございます。61歳になりますが、最近は靴下も立ったまま履けず、体の硬さ、痛さが顕著に出てきました。走りもボチボチがんばります。

●逆瀬川　勇さん／この度は、私の妻、満喜子のお通夜・告別式にご会葬頂きありがとうございました。思えば、会社設立から40年、総務→専務→副社長として、僕より会社を思い育ててくれました。25歳で結婚して50年間に渡る結婚生活、あまりに多い思い出は、僕の人生そのものです。僕はこれにめげず、これから第2の人生、第2の青春として活動していきます。皆様、宜しくお願い致します。そしてありがとうございました。

9月1日のスマイル　小計 120,000円　2025～2026年度　累計239,770円

第2187回例会記録　9月1日（月）

ロータリーソング：「奉仕の理想」
職業宣言唱和：1・2
ゲスト紹介：卓話ゲスト＝京都大学火山防災研究センター長　中道　治久　様
米山記念奨学生＝オム　ジファン様
食事：「本日の演奏」
会長の時間：宮脇　謙舟会長
奨学金支給：オム　ジファン様
誕生日お祝い：石塚　俊雄君（5日）、下　隆治君（16日）
会務報告：林　幸一郎幹事
1）本日の配布　①週報　②月信9月号　③市内RC会員名簿
2）鹿児島北ロータリークラブより
「カンボジア村民と小学校への安全な水の提供支援」プロジェクトのご案内
事業内容：カンボジアの井戸もため池もない村の小学校・集落に井戸と汲み上げ用ポンプを設置
予算：約66万円（個人：1口1,000円～、団体：1口3万円～）
ご支援いただける会員の方は、事務局までお申し出ください。締切10月末日
3）本日定例理事会開催　例会終了後～　社交室にて
4）次週 9/8（月）　例会プログラム　会員卓話「新入会員自己紹介」
友のみどころ＝広報雑誌IT委員会
出席報告 12:54　出席委員会
スマイルボックス：親睦委員会
卓話：ゲスト卓話
「火山災害の特徴と桜島の火山活動」
京都大学火山防災研究センター長　中道　治久様

次回例会　令和7年9月22日（月）
情報集会報告兼会員増強フォーラム

出席率	会員数	出席数	出席報告
第2187回例会	48名	40名	85.10%
前々回（8月18日）の補正	48名	34名	72.34%

本日の曲目：プレリュード、渚のアデリーヌ、イマジン　　**演奏：入来慶子**